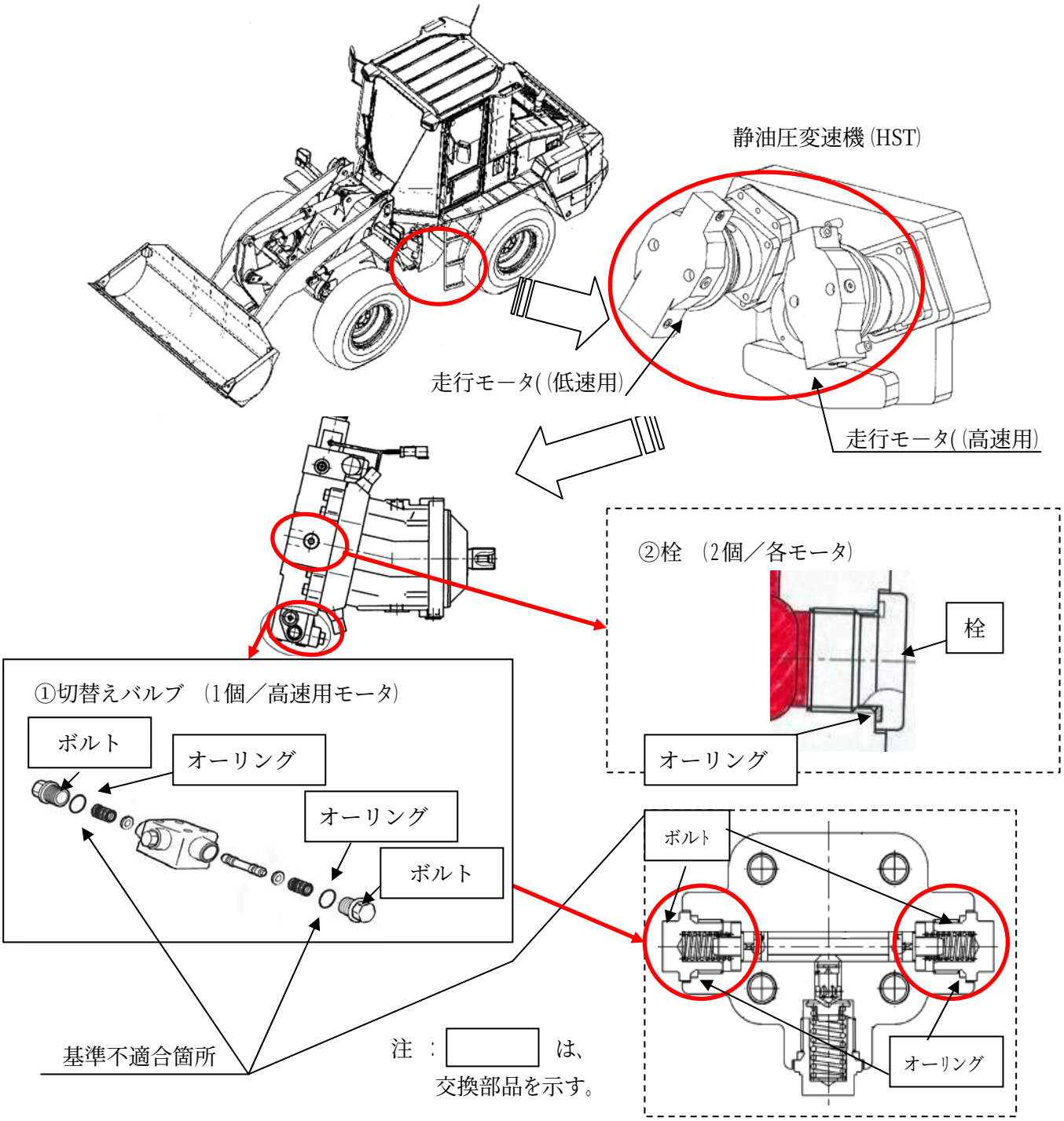
改善箇所説明図　（910GⅡ）




① 静油圧変速機の走行モータの切替えバルブにおいて、左右のボルトの締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用するとボルトが緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

② 静油圧変速機の走行モータにおいて、油圧回路の加工穴を塞ぐ栓の締付けトルクが不適切なため、除雪作業時等の作動油が高圧となる条件下で繰り返し使用すると栓が緩むものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、オーリングが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。

改善措置の内容：

① 車両、ボルト及びオーリングを新品と交換し、ボルトを適切なトルクで締付ける。

② 全車両、栓及びオーリングを新品と交換し、栓を適切なトルクで締付ける。

識別：　栓の端部に白ペンキを塗布し、識別する。